

シンポジウム

箱根山地シカ問題の解決に向けて —丹沢・箱根山地から見えてきたもの—

日時； 2018 年 2 月 24 日(土)

小田原市生涯学習センターけやき 大会議室 13:30~17:30

主催；NPO 法人小田原山盛の会 後援；小田原市・箱根町・小田原環境志民ネットワーク(予定)・プリの森づくりプロジェクト

第1部 箱根山地の現状報告 13:30~14:45

柏木聰 (仙石原野生鳥獣クリニック・NPO 法人小田原山盛の会)

シカのホットスポット、オスジカの分布、シカの胃内容物の分析

川島範子 (NPO 法人小田原山盛の会)

林業被害 の実態 森林植生の劣化 アオキ墓場の紹介

古林賢恒氏

(元東京農工大学森林生物保全学研究室・第2回丹沢大山学術調査 副団長)

丹沢・箱根山地から見えてきたもの

第2部 総合討論「～箱根山地シカ問題の解決に向けて～」

司会・古林賢恒氏 パネリストの発表 15:00 ~16:00

羽太博樹氏(神奈川県自然環境保全課)

県の取り組みと箱根山地および定着防止地域の対策について

大場孝裕氏(静岡県農林技術研究所)

となりの静岡県のシカ状況

濱崎伸一郎氏 (野生動物保護管理事務所)

箱根山地における環境省委託事業の紹介

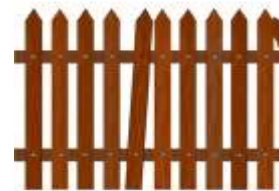
総合討論 16:00-17:30

お問い合わせ

NPO 法人小田原山盛の会

090-9349-7014 (川島)

burimori.p@gmail.com



シカ問題 丹沢・箱根山地から見えてきたもの

古林賢恒（山盛の会シカ調査指導者・元丹沢大山総合調査副団長）

箱根山地にシカが定着して少なくとも 10 年は経過しました。神奈川県のカシカ個体群の母集団は丹沢に存在する故、定着防止エリアとなっている箱根山地においてはシカのカ密度は限りなくゼロに近い事が望ましい。しかしながら、ゼロにすることは、不可能に近い。そこで、出来る限り生息密度を低くすると言うことが目標となります。

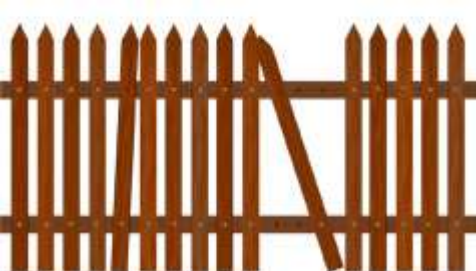
それは、林業被害が起こらない密度であつたり、森林の生物の多様性が低下しない密度ということで具体化する事となります。そこで、3 年間、神奈川県のカ助成事業で箱根山地のカシカのカ分布状況を調べてきた小田原山盛の会に、現状について報告をしてもらいます。

丹沢・箱根山地における調査から

1. アオキを指標としたシカ管理が不可欠
2. 自然はもろい（シカのカ過食圧は永く続くと、自然治癒力のカ範囲を超える）
3. フェンスの早期の設置こそシカ問題のカ解決につながる
（種子のカ供給源のカ確保、gene pool は自然再生の第一歩）

ということが分かってきました。

みなさんのカ忌憚らない意見を戴き、シカ問題のカ解決に向けて調査活動に弾みをつけていきたいと考えます。



小田原市役所 生涯学習センター
けやき 徒歩 10 分 バスあり。
〒250-0042 神奈川県小田原市
荻窪 300 電話: 0465-35-5300

